

保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて ⑤



保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて

- 1 保幼小接続期カリキュラムとは 1P
- 2 宮城県内の取組 3P
- 3 幼児期から学童期への学びのイメージ 4P



- 4 アプローチカリキュラム実践の流れ 5P
- 5 スタートカリキュラム実践の流れ 6P
- 6 振り返り 7P

幼児期に主体的な遊びを通して身に付けた力が、学童期においてどのようにつながり、子どもの成長に作用していくのかを理解した上で、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校のいずれにおいても保幼小接続期カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成、または実践する際の参考として、本書をご活用ください。

平成31年3月
宮城県教育委員会





保幼小接続期カリキュラムの 実践に向けて

1 保幼小接続期カリキュラムとは 1P

2 宮城県内の取組 3P

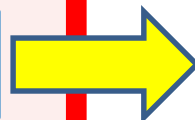
3 幼児期から学童期への学びのイメージ 4P



4 アプローチカリキュラム実践の流れ 5P

5 スタートカリキュラム実践の流れ 6P

6 振り返り 7P



6 振り返り

幼児期に主体的な学びを通して身に付けた力が、学童期においてどのようにつながり、子どもの成長に作用していくのかを整理した上で、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校のいずれにおいても保幼小接続期カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成、または実施する際の参考として、本書をご活用ください。

平成31年3月
宮城県教育委員会



振り返り

〈アプローチカリキュラム編〉



| | | |
|--------|---------------------------------------|--|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | |
| | 計画した活動が小学校生活にどのようなようになっていくのかイメージしている。 | |
| Do | 取組のねらいに応じて環境を構成した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度(次回)に向け、小学校教諭との合同会議を開催した。 | |



振り返り

〈アプローチカリキュラム編〉

お昼の準備をしよう

○みんなで楽しく昼食時間を過ごすため、椅子やテーブルの準備、飲み物の配膳の仕方を
知り、自ら行おうとする。

| 子供の活動 | 保育士・教師の援助 |
|----------------------------------|---|
| 1 時間を意識しながら、準備をしたり食事をしたりすることを知る。 | <ul style="list-style-type: none">・準備（20分）、食事（25分）、片付け（10分）など、一連の流れやおおよその時間を意識して準備をしたり食事をしたりすることを伝える。・状況に応じて、時間が前後してもよいことを伝える。 |
| 2 椅子やテーブルの準備、飲み物の配膳の仕方を知る。 | <ul style="list-style-type: none">・椅子やテーブルの準備は、みんなで協力して行うことを伝え、保育士・教師が実際に子供と共にやってみせる。・飲み物の配膳は、当番の子供が行い、当番 |



振り返り

〈アプローチカリキュラム編〉



| | | |
|--------|---------------------------------------|---|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | ✓ |
| | 計画した活動が小学校生活にどのようなにつながっていくのかイメージしている。 | |
| Do | 取組のねらいに応じて環境を構成した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度(次回)に向け、小学校教諭との合同会議を開催した。 | |



振り返り

〈アプローチカリキュラム編〉



| | | |
|--------|---------------------------------------|--|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | |
| | 計画した活動が小学校生活にどのようなにつながっていくのかイメージしている。 | |
| Do | 取組のねらいに応じて環境を構成した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度(次回)に向け、小学校教諭との合同会議を開催した。 | |



振り返り

〈アプローチカリキュラム編〉

お昼の準備をしよう

○みんなで楽しく昼食時間を過ごすため、椅子やテーブルの準備、飲み物の配膳の仕方を
知り、自ら行おうとする。

| 子供の活動 | 保育士・教師の援助 |
|----------------------------------|---|
| 1 時間を意識しながら、準備をしたり食事をしたりすることを知る。 | <ul style="list-style-type: none">・準備（20分）、食事（25分）、片付け（10分）など、一連の流れやおおよその時間を意識して準備をしたり食事をしたりすることを伝える。・状況に応じて、時間が前後してもよいことを伝える。 |
| 2 椅子やテーブルの準備、飲み物の配膳の仕方を知る。 | <ul style="list-style-type: none">・椅子やテーブルの準備は、みんなで協力して行うことを伝え、保育士・教師が実際に子供と共にやってみせる。・飲み物の配膳は、当番の子供が行い、当番 |



振り返り

〈アプローチカリキュラム編〉



| | | |
|--------|--------------------------------------|---|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | |
| | 計画した活動が小学校生活にどのようにつながっていくのかイメージしている。 | ✓ |
| Do | 取組のねらいに応じて環境を構成した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度(次回)に向け、小学校教諭との合同会議を開催した。 | |



振り返り

〈スタートカリキュラム編〉



| | | |
|--------|---------------------------------------|--|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | |
| | 幼児期の経験を踏まえた計画となっている。 | |
| Do | 活動のまとめで子ども自身の変容や気づきを共有した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度(次回)に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭との合同会議を開催した。 | |



振り返り

〈スタートカリキュラム編〉

手立ては適切
だった？

今日の「交通教室」の
活動のねらいはどう
だった？

〇〇は、
よかったよね。

△△は、
見直しが必要だね。



振り返り

〈スタートカリキュラム編〉



| | | |
|--------|---------------------------------------|---|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | |
| | 幼児期の経験を踏まえた計画となっている。 | |
| Do | 活動のまとめで子ども自身の変容や気づきを共有した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | ✓ |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度(次回)に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭との合同会議を開催した。 | |



振り返り

〈スタートカリキュラム編〉



| | | |
|--------|---------------------------------------|--|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | |
| | 幼児期の経験を踏まえた計画となっている。 | |
| Do | 活動のまとめで子ども自身の変容や気づきを共有した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度(次回)に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭との合同会議を開催した。 | |



振り返り

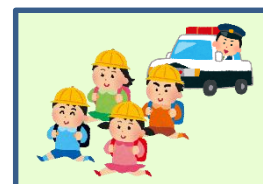
〈スタートカリキュラム編〉

交通教室

日時: 4月20日(火) 3・4校時

場所: 校庭、通学路

ねらい 安全に登下校するため、実際の道路や模擬道路での実地訓練を通して、交通ルールを理解し、実践することができる。



※写真等の記録を残しておくのもよいでしょう。

成果 _____

課題 _____



振り返り

〈スタートカリキュラム編〉



| | | |
|--------|---------------------------------------|---|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | |
| | 幼児期の経験を踏まえた計画となっている。 | |
| Do | 活動のまとめで子ども自身の変容や気づきを共有した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | ✓ |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度(次回)に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭との合同会議を開催した。 | |



振り返り



この様式は、
HPから
ダウンロード
できます。

6 振り返り

保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭が保幼小接続期カリキュラムの取組状況を点検する際にご活用ください。

〈アプローチカリキュラム〉編



| | | |
|--------|--------------------------------------|--|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | |
| | 計画した活動が小学校生活にどのようにつながっていくのかイメージしている。 | |
| Do | 取組のねらいに応じて環境を構成した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度（次回）に向け、小学校教諭との合同会議を開催した。 | |

〈スタートカリキュラム〉編



| | | |
|--------|---------------------------------------|--|
| Plan | 計画案にねらいが明確に記されている。 | |
| | 幼児期の経験を踏まえた計画となっている。 | |
| Do | 活動のまとめで子ども自身の実容や気持ちを共有した。 | |
| | 打合せ等で計画のねらいを全職員に周知した。 | |
| Check | 事後の振り返りを行い、成果や課題をまとめた。 | |
| | 活動計画書やカリキュラムのファイルを作成し、実践例を蓄積している。 | |
| Action | 課題に対する対応策について検討した。 | |
| | 次年度（次回）に向け、保育士や幼稚園教諭、保育教諭との合同会議を開催した。 | |

※この様式はHPから[ダウンロード](#)できます。

保幼小接続期カリキュラムの事例等については、宮城県HP「学ぶ土台づくり」の「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈資料編〉」をご覧ください。

発行・編集【宮城県教育庁教育企画室】 平成31年3月発行
〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号
TEL 022-211-3616 FAX 022-211-3699
E-mail kyokuop@pref.miyagi.jp
URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyou-kikaku/>





保幼小接続期カリキュラムの 実践に向けて

1 保幼小接続期カリキュラムとは 1P

2 宮城県内の取組 3P

3 幼児期から学童期への学びのイメージ 4P



4 アプローチカリキュラム実践の流れ 5P

5 スタートカリキュラム実践の流れ 8P

6 振り返り 7P

幼児期に主体的な遊びを通して身に付けた力が、学童期においてどのようにつながり、子どもの成長に作用していくのかを整理した上で、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校のいずれにおいても保幼小接続期カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成、または実施する際の参考として、本書をご活用ください。

平成31年3月
宮城県教育委員会

「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈リーフレット〉」

「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈資料編〉」

は、宮城県HPからダウンロードできます。

